



家畜保健衛生所だより



R8.5.7

静岡県富士宮市で豚熱（CSF）が発生 （国内 104 例目、静岡県 2 例目）

5月5日、静岡県富士宮市の養豚農場においてCSFの患畜が確認されました。静岡県の養豚場では3月12日の同市での発生に続き、2例目となります。

【発生農場の概要】

- ・ 農場所在地 静岡県富士宮市
- ・ 飼養頭数 約2,930頭
- ・ 経緯 5月4日:農場から異状が見られるとの通報があり検査を実施。
CSFの疑いが生じたため国※による精密検査を実施。
5月5日:患畜決定（精密検査陽性）。 ※農研機構動物衛生研究部門

県内での野生イノシシ感染は、令和6年6月以降43例（うち、中予管内27例）確認されています。今後、野生イノシシの活動が活発になり、CSFウイルスの拡散による農場への侵入リスクが一層高まります。このため、農場周囲には常にウイルスが存在する前提のもと、野生動物の侵入防止対策や出入り時の消毒等の飼養衛生管理及び早期発見・早期通報の徹底をお願いします！

1 野生動物対策

- 防護柵・防鳥ネットの点検
- 畜舎周囲の清掃、整理・整頓
- 飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排泄物等の混入防止

2 人・物・車両によるウイルスの持ち込みの防止

- 衛生管理区域、畜舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- 衛生管理区域専用及び畜舎の衣服、靴の設置と使用の徹底
- 人・物の出入りの記録

3 早期発見・早期通報の徹底

CSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等の異状がないか、毎日確認し、異状がみられた場合には、すぐに下記までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129（夜間・休日）